

デザインコンセプトの骨子 (案)

デザインコンセプト

付帯意見を総体的に表現

付帯意見

- 小樽運河、石造倉庫、銀行建築などの「小樽の風格ある歴史的な街並み」が感じられ、奥沢水源地、勝納川、天狗山などの「水と緑が豊かな周辺環境」と調和する、「石やガラス」を基調としたデザインを検討いただきたい。
- 小樽運河散策路のガス灯や、「小樽雪あかりの路」のろうそくの光のような「温かい灯り」を効果的に用いて、夜や冬にも印象的な駅舎となるよう、工夫していただきたい。
- 小樽に点在する歴史的なレンガ建築をイメージさせ、周辺の緑や雪に映える「レンガ調の色」を取り入れることも検討いただきたい。
- 世界とつながる港湾都市として、「港・海」を表すデザインを取り入れることも検討いただきたい。
- 「地域の歴史・文化」（漁業、ニシン、アイヌ文様[※]など）をモチーフとしたデザインを取り入れることも検討いただきたい。 ※アイヌ文化の理解や知的財産権への配慮が必要
- 小樽の有数のビューポイントである「天狗山山頂から眺めた時の見え方」にも配慮いただきたい。
- 内観は、石造倉庫内部のような、落ち着き・温もりを感じられるデザインを検討いただきたい。また、地域（後志）産木材の使用にも配慮いただきたい。
- 内部に、ガラスのまちとして、「ガラス作品の展示スペース」や、「スタンドグラス」などのほか、利用者を楽しませる「遊び心」（鮎のまちを表現するなど）を取り入れることも検討いただきたい。
- 外国人観光客や高齢者など、すべての人に使いやすいユニバーサルデザインを取り入れ、外国語表記やゆとりのある通路幅・扉の高さ等に配慮いただきたい。

【今回協議いただきたい事項】

- ① 「付帯意見」（具体的な要望事項）の骨子案について、肉付け、重み付け、絞り込み（削除）、修正、表現方法などの意見をいただきたい。
- ② 「デザインコンセプト」（付帯意見を総体的に表現したキャッチコピー的なもの）の案や、盛り込むべきフレーズ、キーワードを出していただきたい。

→ 第3回部会で、今回の意見を反映したデザインコンセプト案について、改めて協議